

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
<p>～優しさ 思いやりを柱に～ 未来を創る力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上 (知) ・ 健やかな心と体 (徳・体) ・ 社会の一員としての自覚と責任 (公・開) 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他者と議論できる知識 ・ 受信した知識を整理し、他者に発信する力 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を発見する力と、それに向けた解決方法を複数提示し、良いものを選択できる力 ・ 課題解決のための計画を立て、進捗状況を確認し、進める力 <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の現状を把握し、自分と向き合いながら成長を目指す態度 ・ 課題解決のための計画を立て、それに向けて周囲と連携し、協働しようとする態度 ・ 自身の心と体を大切にしつつ、相手の立場を理解しながら自分の意思を示す態度

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> ○学習の習慣化に向けた環境整備と具体的な支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校司書との連携と学級文庫の充実を通して、読書活動や図書室利用の質的充実を図る。 ・ 放課後と長期休業に学習支援の場と時間を設定し、自主学習を支援する。 ○家庭学習の習慣化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 副教材を利用した家庭学習を推奨し、保護者への定期的な情報提供によって家庭学習の習慣化と定着を図る。 ○教科指導力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相互の授業参観や校外の研修会・研究会で指導技術の研鑽を積み、生徒一人ひとりの能力を高める授業実践を目指す。 ・ 課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びの実現を共通の目標とする。深い学び、対話的な学び、生徒自身が興味を持って取り組む主体的な学びが展開される授業実践を目指す。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が自らの課題を発見し、解決方法を考えるための対話的な授業づくり ・ 課題の解決のために計画を立て、自ら学習を進め、振り返りを通して生徒の活動
担当	学習指導部
	・ 本校で目指す資質・能力の育成に向けた、校内の相互の授業研究・情報共有、小中連携

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握 (R3より)

(1) チャートの分析

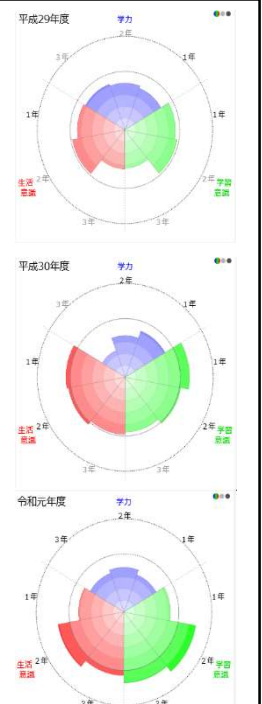
- 一部を除き、学力、学習意識、生活意識で、横浜市の平均を下回る状況が続いている。
- 睡眠時間は比較的確保されつつも、家庭学習の時間が少なく、スマホ等に費やす時間が多い傾向がある。多くの生徒は、睡眠はある程度確保しつつ、放課後の時間を学習ではなくネット環境を利用した自由利用に費やしていると思われる。
- 「19/自分によいところがある」に対して否定的な回答が、学年によって多くみられる場合がある。(「どちらかといえばを含めて) そう思わない」が 19/令和元年度第2学年で 26%/19/令和元年度第1学年が 43%)
- 令和元年度の学力層で見ると、全学年の全教科で、A層の生徒の割合が市を下回り、D層の割合は市を上回っている。

(2) 教科学習の状況

- 国語科 : 文章からもの見方や考え方を読み取り、自分の考えを広げることに課題がある。
- 社会科 : 資料や会話文から必要な情報を取り出し、自らの考察に生かすことに課題がある。
- 数学科 : 基礎的な技能の習得に課題がある。特に関数領域の理解に課題がある。
- 理科 : 実験・観察の技能や、実験結果を基にしたグラフ化や数値計算に課題がある。
- 外国語科 : 学力層の分布が改善し、市のそれに近い。過年度同学年の中で最も良好ある。

(3) 経年分析

- 令和元年度においては、学力、学習意識ともに、国語、数学、理科について改善がみられる。
- 同第3学年においては、学習意識、生活意識について3年間にわたり順次改善していた。



3 令和4年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・受信した知識を整理し、他者に発信する力 ・課題解決のための計画を立て、進捗状況を確認し、進める力 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題作文やスピーチ発表の原稿作成など、指示に沿って他者に伝わる文章を作成する活動を取り入れる。 ・学びを振り返る機会を計画的に設定し、生徒が一つの単元を通してどのような学びや変化を得られたか気付き、次の単元につなげようとする姿勢を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題作文やスピーチ発表の原稿作成など、指示に沿って他者に伝わる文章を作成する活動を取り入れる。 ・他者や教材などから発信されたことを受け取り、漢字や言葉の意味や使い方を増やせるように支援する。 ・学びを振り返る機会を計画的に設定し、生徒が一つの単元を通してどのような学びや変化を得られたか気付き、次の単元につなげようとする姿勢を育む。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から事象を正しく読み取り、それを自らの考察に生かす力 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から社会的な事象を正しく読み取ることができるよう、授業内で資料から読み取る取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な知識を獲得し、自ら判断して他者にわかりやすく表現する取り組みを行う。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・受信した知識を整理し、他者に発信する力 ・課題を発見する力と、それに向けた解決方法を複数提示し、良いものを選択できる力 	<p><数と式・方程式・関数分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士の学び合いを通して、数量の関係や法則などを論理的に考察し表現する力を育成する。 ・多角的な視点をもって複数の解法を考察し、よりよい解き方を見出す力を育成する。 	<p><図形・データの活用分野></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の性質を理解し、それを論理的に説明する力を育成する。 ・データや資料を、表やグラフを用いて効果的に分析し、生徒同士の話し合いを通して物事を推測し表現する力を育成する。 ・多角的な視点をもって複数の解法を考察し、よりよい解き方を見出す力を育成する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を発見する力 ・課題解決のための計画を立て、進捗状況を確認して進める力 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの機会を計画的に設定し、生徒が自らの課題に気づき、学ぼうとする力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 単位ごとに振り返りをして、次の単元へどう取り組むか見通しをもたせる。そして、単元の終わりに、自分の課題を改善させることができたかどうか振り返らせる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を発見する力 ・周囲と連携し、協働しようという学びに向かう力 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や、器楽演奏などの音楽表現活動を通して、自らの課題を見出し、解決に向けた取り組みを行う。 ・生徒同士で課題を見出し、解決に向けて協力して学ぼうとする力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの演奏を客観的に聴きながら振り返る機会を取り入れる。その際発見した課題を周囲と話し合いながら解決に向けて取り組む。
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のための計画を立て、進捗状況を確認し、進める力 ・受信した知識を整理し、他者に発信する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作活動を行う中で自分が表現したいものを見通しを持って創造していく力を身に付ける。 ・鑑賞において、他者の作品の良さを受容し、自分の言葉で表現する力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を積み重ねることによって自身の表現の幅を広げ、完成に向け取り組む力を身に付ける。 ・鑑賞において、他者の作品の良さを受容し、自分の言葉で表現する力を身に付ける。
保健	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を発見する力 ・受信した知識を整理し、他者に発信する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や組み合わせ方を工夫している。 ・自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状把握の機会を作り、発見した課題に応じて運動計画を立てる。課題解決に向け取り組み、仲間と評価を行う。
技・家	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を発見する力 ・課題解決のための計画を立て、進捗状況を確認して進める力 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業を通じて生じてきた課題をとらえ、解決の道筋をみつける力を育成する。 ・振り返りの機会を計画的に設定し、生徒が自らの課題に気づき、学ぼうとする力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業を通じて生じてきた課題をとらえ、解決の道筋をみつけようとする場を設ける。 ・振り返りの機会を計画的に設定し、生徒が自らの課題に気づき、学ぼうとする力を育成する。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を整理し、他者に発信する力 ・相手の立場を理解しながら自分の意思を示す態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動で活用できる知識・技能を身につける。 ・コミュニケーション活動に主体的に取り組む力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けた知識・技能を活用して、主体的にコミュニケーション活動に取り組む ・自らの学習に対する取り組みを振り返り、必要に応じた学習を重ねられるよう促す。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を整理し、他者に発信する力 ・相手の立場を理解しながら自分の意思を示す態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共心、思いやりの心を育み、自身で考えたことを発信できる力を育成する。 ・相手の気持ちを考えられる題材を用いて規範意識の育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共心、思いやりの心を育み、自分で考えたことを発信する場を設ける。 ・自ら規範意識をもって行動する姿勢を促す。
特活	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のための計画を立て、それに向けて周囲と連携し、協働しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や委員会における話し合い活動を通して、お互いの意見を尊重しつつ、問題解決のために協力することの大切さに気付き、自ら考え行動する力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動や行事を通して、問題や課題解決のための合意形成に向け、相手の意見の良さを認め、自らの役割を考え協力する姿勢を育成する。
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を発見する力 ・課題解決のための計画を立て、進捗状況を確認し、進める力 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組むべき課題を見出し、解決に向けての計画を適切に立てる力を育成する。 ・仲間とともに協働し、試行錯誤しながら課題解決する力を育成する。 ・発表活動を通して、聞く、伝えることを重視する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ・表現から新たな課題を見出して、探究のプロセスを回す学習活動を各学年で企画する。 ・発表活動を通して、聞く、伝えることを重視する。
個別級	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のために、周囲と連携し、協働する力 ・相手の立場を理解しながら自分の意思を示す態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えながら、コミュニケーション活動に取り組めるようなソーシャルスキルトレーニングに取り組む。 ・自分の意見を様々な方法で発信する力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来のことを考え、仲間と協力し、自立に向けての力を育成する。 ・自分の気持ちが相手に伝わるように、言葉を選び伝える力を育成する。